

いばらき自然エネルギーネットワーク設立10周年記念事業  
奨学寄付対象研究および小論文の公募

いばらきの脱炭素社会と再生可能エネルギーの「これまで」「これから」をテーマに研究計画と小論文を募集します。

2050年ゼロ・カーボン（脱炭素社会）を達成するうえで、「再生可能エネルギーの主力電源化」などに向かうエネルギー転換は不可欠です。そのために、技術や社会のイノベーションとともに、家庭・事務所の省エネや地域における再生可能エネルギー開発など、個々、各地域の意識改革や積極的取り組みの必要性が繰り返し強調されています。しかし、総論、方向は理解しているものの、実現可能な脱炭素社会像や具体的な取り組みを、当事者として意識している人は意外と多くはないかもしれません。脱炭素社会の実現あるいはエネルギー転換に対して、今、どのような意識をもつべきか？できることは何か？何を優先すべきか？どのような未来を描くか？「合理的」で、「確実」な答えが得られているとは、まだ言えません。

「いばらき自然エネルギーネットワーク（REN-i）」は、「茨城県における自然エネルギー及び省エネルギーに対する関心と理解を開拓し、これらの普及、利活用を通じて、逞しい地域社会を実現し持続可能な地域づくりを推進するための活動・事業を実施する」ことを組織の目的として2012年に設立された市民団体です。REN-iは、設立10周年を迎えるにあたり、一般社団法人波崎未来エネルギーの協力を得て、2030～2040年代の社会を担うみなさんに、2050年のゼロカーボン実現に向けて、これらの疑問を問いかけ、未来志向の答え・声を聴くことを企画しました。

エネルギー転換・再生可能エネルギー利用という眼鏡で、これからの脱炭素社会像に関する次の時代を担う世代のオピニオンや提言などを募るとともに、関連する調査、分析あるいは未来デザインなどの研究を支援することを目指しています。気候変動に対する緩和策・適応策、「誰ひとり取り残さない」というSDGsの基本理念などの視点を基軸としつつ、足元の地域である「茨城」の現状理解に基づく、未来志向で自由な発想の主張、意見や提案を広く募集します。

いばらき自然エネルギーネットワーク  
<https://www.ren-ibaraki.jp>

## 募 集 内 容

研究計画と小論文を募集します。

### 1. 研究計画（寄付上限100万円）

小論文の作成着手に当たって調査・収集した「いばらきの再生可能エネルギーの現状」のデータ・資料等に関して、より深い調査・分析・実験などに基づく研究を実施したい場合には、奨学寄付の対象とする研究計画として応募することができます。対象とする研究は、自然科学、社会科学などを限定せず、全分野を対象とします。

応募できる研究計画は、小論文応募の学生を含む共同研究で指導教員等を代表とし、2021年度内に成果が得られることを条件とします。

研究計画には、研究の題目、目的、方法、期待される成果、体制（教員等を代表としてください）、概算研究費（上限額100万円）などを記載してください。提出する研究計画は、A4、2ページ以内（図表を含む）で作成してください。

### 2. 小論文（総額上限25万円）

エネルギー転換、再生可能エネルギー利用や省エネルギーなどに着目して、2050年脱炭素社会の姿、あるいは脱炭素社会を実現する道筋や課題として考えられること、脱炭素社会実現のために自分自身が行いたい/行うべきこと、社会に対して提案・提言することなどを、自由な発想で日本語2,500～4,000字（図表、写真等は除く）の小論文として作成し、提出してください。小論文には、以下の内容を含めてください。

#### ①茨城の再生可能エネルギー（自然エネルギー）普及の現状に関するデータ

（県全体、特定の市町村や地区などの範囲は問いません。また、生活、教育、交通、地域づくり、建築、農業・工業・サービス業等の産業など、対象も限定しません。さらに、取り上げるエネルギー種は、再生可能エネルギー全体でも、複数のエネルギー資源でも、さらに一つのエネルギー資源でも構いません。可能であれば、新たな観点でグラフ化・可視化したものが含まれることを期待します。）

#### ②茨城の再生可能エネルギー（自然エネルギー）普及に対する現状評価

（①と同様、評価する範囲・分野やエネルギー種は限定しません。）

#### ③脱炭素社会の姿と再生可能エネルギー（自然エネルギー）の役割

（脱炭素社会の姿としては、例えばエネルギーの資源構成・利用形態、交通体系、土地利用、経済システム・産業構造、社会制度、働き方・住み方、ライフスタイル、消費者意識などを考えることができるかもしれませんが、とくに特定はしません。2050年に実現してほしい未来像や実現のための提言などを自由に発想・提案してください。）

応募の小論文は、個人によるものでも、グループで作成したものでも可としますが、自作かつ未発表のものに限ります。

## 応募規定

### 1. 研究計画

締め切り：2021年8月31日23時59分

応募方法：下記メールアドレスまでデータにてご提出ください。その際、メール標題を「奨学寄付対象研究計画の提出」とし、メール本文にてグループ全員の所属・職名、学年・氏名をお知らせください。

提出先アドレス：[GJ-soumu@ml.ibaraki.ac.jp](mailto:GJ-soumu@ml.ibaraki.ac.jp)

書式自由ですが、PDFで図表等を含めてA4、2ページ以内にまとめてください。

### 2. 小論文

締め切り：2021年10月31日23時59分

応募方法：下記メールアドレスまでデータにてご提出ください。その際、メール標題を「奨学寄付対象小論文の提出」とし、メール本文にて所属・学年・氏名（グループの場合は全員分）をお知らせください。

提出先アドレス：[GJ-soumu@ml.ibaraki.ac.jp](mailto:GJ-soumu@ml.ibaraki.ac.jp)

書式等は、下記URLを参照してください。

<http://kenkyu-jyosei.admb.ibaraki.ac.jp/subsidy/REN-i%2010周年小論文応募書式.pdf>

注) 研究計画も、小論文も提出済の差し替えは可能です。最後に提出したもののみを審査対象とします。

## 研究計画の採択

応募いただいた研究計画は、茨城大学の教員を含む審査会議により審査し、下記のような条件・内容等で、（一社）波崎未来エネルギーから茨城大学への奨学寄付対象の研究課題として採択します。

- ・採択する研究計画は、原則として1件です。ただし、審査の結果、場合によっては2件まで採択する場合があります。また、適切な研究計画がない場合は、採択を行わないこともあります。
- ・寄附金の総額（間接費を含む）は100万円を上限とします（2件採択の場合は、合計額が100万円以内）。
- ・2021年9月15日までに採択を決定し、9月末日までに研究担当の教員に対して寄付を行います。ただし、手続き等の状況により遅れる場合があります。
- ・採択された研究に関しては、研究の全体報告と概要（A4、2ページ）を2022年3月末日までに提出していただきます。

研究成果は、公開の場で発表をお願いする予定です。また、採択された研究計画および研究成果は、冊子およびホームページ等に名前、所属とともに、概要または報告全文を掲載する場合があります。

### 小論文の賞

応募いただいた小論文は、茨城大学の教員を含む審査会議により審査し、下記の賞を2021年12月15日までに決定し、それぞれの奨学金を「いばらき自然エネルギーネットワーク」から贈ります。

(研究計画の申請および採否は、賞の決定には影響しません。)

	<u>件数</u>	<u>奨学金</u>
最優秀賞	1	10万円
優秀賞	2	各5万円
特別賞	2以内	各2.5万円

入賞の小論文は、公開の場で発表していただくことがあるとともに、冊子およびホームページ等に名前、所属ともに全文を掲載する予定です。

### 応募資格

#### 1. 研究計画

茨城大学の教員および小論文に応募する茨城大学の学部・大学院（修士課程）の学生ほかで構成されるグループ（教員を代表とする連名で応募ください）。

#### 2. 小論文

茨城大学の学部および大学院（修士課程）の学生（個人またはグループ）。

#### 応募の手続きに関する問い合わせ先

茨城大学研究・社会連携部研究推進課研究総務係

電話：029-228-8601

Email：[GJ-soumu@ml.ibaraki.ac.jp](mailto:GJ-soumu@ml.ibaraki.ac.jp)

#### 応募の内容に関する問い合わせ先

いばらき自然エネルギーネットワーク

Email：[info@ren-ibaraki.jp](mailto:info@ren-ibaraki.jp)